



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
F078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人（局長）
佐々木 晃成
（電気科3年）

工高祭
応援号3

科展示
旭工の職人技



椅子作りの技術

建築科では実習で余った木材を使用してキーホルダーや椅子などを製作し、1階実習棟の材料実習室で販売する。また射的コーナーを設ける。椅子は3種類ありシンプルな椅子と背もたれのある椅子、座る部分に隙間を空けたおしゃれな椅子があり、どれも座りやすいように工夫したという。

枘田武君（2年）は「工
 夫したのは椅子の高さや面
 積などのサイズによって木
 材のサイズをうまく調節す
 るところと、椅子には角が
 多いため痛くないようにや
 すりがけで角を丸めたところ。
 ぜひ椅子を買って、射
 的コーナーでも楽しんでく
 ださい」と話した。

情報技術科



メダルゲームの体験

情報技術科の科展示のテーマは「ITに触れてみよう」。生徒33人で製作している。VR体験やプログラミング体験、過去に作った課題研究のメダルゲームなどの体験ができる。

リーダーの佐藤結稀君（3年）は「先輩方が完

成させたものを自分たちの学年でさらに改良した。課題研究の作品を皆で楽しめるのが見所だ。授業で作った、たくさんあるうちのどのゲームを選ぶのかに苦労した。模擬店に行って暑くなったら休憩ついでに寄ってほしい」と語った。

鉄道模型を走らせよう



はんだ付けをする電気科の3年生

いる。

リーダーの安達凛君（3年）は「体験できるものを昨年よりも増やした。一気に増やしたので準備する作業が多くなってしまった。どう来場者を楽しませるかを考えて工夫した。展示会場は4階で遠いが、楽しめるものをたくさん用意したので、ぜひ来てほしい」と語った。

電気科の科展示のテーマは「電気科展示はじめました」。4階実習棟の電気磁気実習室と機器室で生徒22人で製作した。七宝（しっぽう）焼体験と鉄道模型Nゲージの制御体験、過去の課題研究のストラックアウトや電気工事のパネル展示をしている。

リーダーの安達凛君（3年）は「体験できるものを昨年よりも増やした。一気に増やしたので準備する作業が多くなってしまった。どう来場者を楽しませるかを考えて工夫した。展示会場は4階で遠いが、楽しめるものをたくさん用意したので、ぜひ来てほしい」と語った。



電子機械科の科展示のテーマは「電子機械科 俺たちの誇り!」。1階実習棟の電子機械科実習室で生徒28人で製作したダンベルやゴミステーションなどの販売を行ない、ロボットアームでの釣り、CNC旋盤などを展示する。

ゴミステーションを作る電子機械科の生徒

リーダーの清水亮太君（3年）は「色々な所に案内板を置いて会場の場所を分かりやすくし、工場が明るい雰囲気になるように工夫した。ダンベルを一個ずつ磨くのに苦労した。様々な商品や見ごたえのある展示ばかりなので、ぜひ見てほしい」と話した。

磨き上げたダンベル



コンクリート平板を作る土木科の生徒

土木科のテーマは「悪魔のコンクリートと天使のわたあめ」。生徒26人で活動し、1階実習棟の土質実験室でコンクリート平板の販売と測量器具の展示をする。体験した人に無料券を配り、綿あめとの交換を行なう。

リーダーの山本陽翔君（3年）は「カラフルで様々なデザインコンクリート平板があるのが見所。コンクリート平板は1枚400円と安いのでぜひ買ってください」と話した。

コンクリート平板を見て

工業化学科のテーマは「科学を楽しもう」。3階実習棟の工業化学科物理計測実習室と工業化学科科学反応実習室でプラ板、宙に浮く水道、空気砲、スライム、カルメ焼き、アイスクリーム、ポップコーンの7つの体験やワークショップを行なう。

リーダーの小酒井玲央君（3年）は「装飾ではポケモンをテーマにして班ごとに絵の内容に合わせて統一感を出した。コロナ禍が明けてポップコーンやアイスクリーム、カルメ焼きなどの食べ物を作れるようになった。ぜひ多くの人に来てほしい」と話した。

リーダーの小酒井玲央君（3年）は「装飾ではポケモンのテーマにして班ごとに絵の内容に合わせて統一感を出した。コロナ禍が明けてポッポコーンやアイスクリーム、カルメ焼きなどの食べ物を作るようになった。ぜひ多くの人に来てほしい」と話した。

楽しく実験を



スライムを作る工業化学科の2年生

工業化学科